

狩場集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成 26 年 7 月 3 日

修正日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

市町村名	日南町	組織名	狩場機械組合	
1 地区の範囲 日野郡日南町福万来（狩場・小濁）				
2 地区の概要				
水田面積	18.395 h a	主な水田栽培作物	水稲、そば等	農家数 14 戸
認定農業者数	0 経営体	人・農地プランの中心となる経営体数	1 経営体	
3 組織化及び集積率（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標				
【項目】		【現状】	【目標】 27 年度	
組織の概要	設立時期 (規約等の制定日)	平成15年8月27日 (平成26年7月3日)		
	組織形態 (該当形態に○を記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・未組織 ・共同利用型 ・協業経営型 作業受託型	<ul style="list-style-type: none"> ・共同利用型 ・協業経営型 作業受託型	
	構成農家数	7 戸	7 戸	
農地の集積	集積面積 A	9.687 h a	11.748 h a	
	対象水田面積 B	18.395 h a	18.395 h a	
	集積率 A/B	52.66%	63.86%	
世代交代への取組		無	2 名	
新規就農者の活動参画		無	無	

注 1) 目標は、事業実施最終年度とする。

2) 設立時期の目標欄は、ビジョン作成時に組織が設立されていないときのみ記載すること。

3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。

4) 集積率の目標は、50%超が採択要件。

5) 集積率の目標は、原則として現状よりも高い数値を設定すること。

6) 集積率の目標値を現状より高い数値に設定することが困難な場合、構成農家数の増、世代交代への取組、新規就農者の活動参画のいずれかでも可。ただし、世代交代への取組又は新規就農者の活動参画の欄に現状及び目標を記載すること。

I 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】

1 担い手の明確化及び水田利用集積目標

狩場集落では、基盤整備事業終了後、集落単位で水田農業を維持していくための体制づくりを協議し、平成15年に機械の共同利用組織「狩場機械組合」を設立したが、現在は3名のオペレーターによって作業を行っている。

水稻の刈取りについては、狩場機械組合が作業を取りまとめ、機械組合所有の3条刈コンバイン1台と個人所有の3条刈コンバイン1台で対応してきた。近年、狩場集落のある福万来地域では、農家の高齢化により、個人で水田農業を維持していくことが困難となってきたおり、狩場集落に周辺集落(小濁)から相談があり小濁集落と話し合いをした結果、小濁集落の受託作業を行うことになった。そのため、狩場集落の水田農業を維持しつつ、小濁集落の受託作業を行うためコンバイン1台を導入し体制整備し、水稻基幹作業の地域の担い手として取組んでいきたい。

2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策

狩場集落及び小濁集落のある福万来地域は、良質米の産地であり、水稻の品種はヒトメボレ、コシヒカリ、ヒメノモチを作付けしており、今後も現状の品種の作付けを奨励していく。作付計画については、現在、圃場ごとにバラバラに品種が作付けされていることから、田植え、防除、刈取り等の効率的な作業を推進するため、品種ごとに団地化した作付けを実施する。

生産調整は、非主食用米の取組みとソバ等転作作物の作付けによって、農地としての機能維持を図る。

3 農業用機械施設の効率利用

現在、狩場機械組合は、トラクター3台、田植機1台、コンバイン1台を保有し、集落内の水田農業に取り組んできた。今後は、小濁からの受託作業を行いながら、両集落の水田農業を維持していく。

しかし、個人所有のコンバインは耐用年数を経過し、廃棄することとなった。そのため狩場機械組合が保有する3条刈コンバイン1台では、集落内の小区画で中山間特有の条件不利地において、効率的な作業を行うことが困難となる。また、刈取りの受託作業の増加により、1台では適期の刈取作業がさらに困難となり、良質米の確保に影響が出ることが予想される。

そこで、狩場機械組合が3条刈コンバイン1台を増強導入することにより、効率的な水田農業作業の体制を強化し、安定した刈取り作業を実施することが可能となり、両集落内の水田農業の維持発展を図っていくことが出来る。

4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針

狩場機械組合では、現在、3名のオペレーターによって作業を行っている。将来、組織の中心となる40代の兼業農家2名については、農業機械の技術習得のみならず、組織の運営にも参画させながら後継者の育成を行い、安定した組織運営ができる体制を整備する。

5 経営多角化の方針・具体策【経営多角化支援メニューを実施する組織においては必ず記入】

II 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額（円）	導入予定年月	本事業による導入機械に○
コンバイン	3条刈	1台	6,168,960円	平成26年8月	○